

外国語

(英語)



「中学校は外国語を教科として履修させる最初の学校であるから、当然外国語の能力の基礎を築くことになるわけである。このような基礎を築く段階においては、外国語を音声として、文字として理解し表現する能力を、一方に片寄ることなく、調和を保ちながら養うことが必要になる。」——指導書「外国語目標設定の基本的な考え方」——これをふまえ、本年度外国語科（英語）の指導の重点策定にあたり、学習指導要領に示す目標及び内容に照らし選び出された基本的な言語材料を生徒の能力に応じ、確実に身につけさせることをめざして次の三つの柱を立て、それぞれに努力すべき観点を掲げた。

- 一、生徒の運用能力を高める指導計画を作成する。
 - 二、学習指導法について研究を深め、生徒の言語活動を充実する。
 - 三、授業の確かめと、指導の改善に役立つ評価のあり方について研究する。
- これらの指導の重点事項・努力点は

なにも新しいことではないが、現実の学習指導をふりかえり、再確認しながら、継続的に努力を積み重ねることを意図して設定されたものである。それぞれの重点事項で、特に強調したい点について述べることにする。

- 一、生徒の運用能力を高める指導計画を作成する。
- 1、基本的事項の選定
 - 英語の学習指導がその目標を達成することができるかどうかは、言語材料における基本的事項の選定が適切かどうかにかかっている。その選定・配列は慎重に行われなければならないが、特に次の二点に留意したい。
 - (一) 言語材料の全体を見通して基本的事項を選定すること。——言語材料には、それぞれの構造があるので、その全体を見通して、そこから基本的事項を選定しなければならぬ。具体的には、英語が累積的な性格をもつものであるから、教科書にもられている言語材料のみに頼ることなく、それぞれの言語材料の全体的な構造をじゅうぶんに把握して、その広い立場から基本的事項を選定していくことが必要である。そのためには、学習指導要領並びに教科書研究の深化を図り、中学校英語の全容をつかみ、その教材構造を明確にすることがたいせつである。
 - (二) 基本的事項は、より基本的なものからやや進んだものへと発展的に構成すること。——英語が累積的性格をもつものであること、さらに、中学校の英語が英語を聞き、話し、読み、書く能力の基礎を養うことを目標としていることなどから、単に基本的と考えられる事項を平面的、ら列的に選ぶだけではじゅうぶんではない。基本的事項の中にもより基本的なものもあれば、やや進んだものもあるわけである。したがって、基本的と考えられる事項を選定したのちには、それらの中でより基本的なものからやや進んだものへと発展的に構成していくことが必要になる。

英語科学習指導案

1 題 材 Lesson 5 I am Dick. (5時間)

2 目 標

- (1) 日常生活のいろいろな場面を通して、説明文や対話文になれさせる。
- (2) 人称代名詞 (Nominative case)とそれに対応するBe動詞を理解させその用法に習熟させる。

4 本時の計画

望ましい言語活動がなされるためには、前段階において、じゅうぶんな音声練習、基本的な文型練習、文構造の理解等がなされるべきであると考ええる。

本時では、日常生活の身近な、具体性のある内容を、生徒一人一人の立場におろして、理解し、表現させ、Readiness for Productionの習慣形成を意図して、授業を展開したい。

(1) ねらい

- ・人称代名詞 (You)とそれに対応するBe動詞を使った疑問文の用法に習熟させる。
- ・Are (Am) you (I) ~?の疑問文に対する、応答の用法に習熟させる。

(2) 内容の関連

<p>○ This is a cup. (L. 1)</p> <p>○ Is that a pin? (L. 2)</p> <p>Yes, it is. No, it isn't.</p> <p>Is he (she ...) ...? (L. 2, 4)</p> <p>Yes, he (she) is. No, he (she) isn't.</p>	<p>Are you an American boy? Yes, I am. No, I am not.</p> <p>Are you ... ?</p> <p>Am I an English lady? Yes, you are No, you aren't.</p>	<p>○ What is your name? My name is Dick. (L. 6)</p> <p>You are pupils. (L. 8)</p> <p>The rose is red. (L. 10)</p> <p>○ How old are you? (L. 12)</p>
---	---	---